

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-238957

(P2000-238957A)

(43) 公開日 平成12年9月5日 (2000.9.5)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テーマコード(参考)

B 6 5 H 35/07

B 6 5 H 35/07

D 3 F 0 6 2

// B 4 3 L 19/00

B 4 3 L 19/00

H

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平11-43020

(22) 出願日

平成11年2月22日 (1999.2.22)

(71) 出願人 000134589

株式会社トンボ鉛筆

東京都北区豊島6丁目10番12号

(72) 発明者 増本 博昭

東京都北区豊島6丁目10番12号 株式会社
トンボ鉛筆内

Fターム(参考) 3F062 AA12 AB05 BA01 BA04 BB08

BC01 BC03 BC09 BD03 BE01

BE08 BF03 BF38

(54) 【発明の名称】 転写テープ塗布具

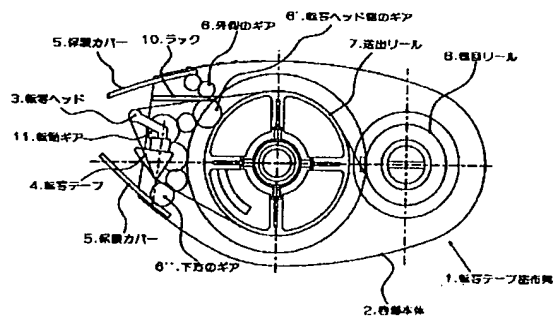
(57) 【要約】

【課題】 簡単な構造で、転写ヘッドを保護し、転写テープが意図しない部分に接して転写剤が剥離するのを確実に防ぐものである。

【解決手段】 容器本体(2)先端側より突出して転動ギア(11)と一体化してなる転写ヘッド(3)を不使用時に容器本体内に収納するためのスライドボタン

(9)を容器本体外に摺動自在に設けて、容器本体内に該スライドボタン(9)と一体的に取り付けられたラック(10)と、該ラック(10)と連動するギアを容器本体(2)内に特設し、転写ヘッド側のギア(6')を前記転動ギア(11)と連動し、同時に外側のギア

(6)を容器本体内に摺動自在に取り付けられ上下に分割された保護カバー(5)内面の歯に連動させるものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】容器本体内に内装される送出リールに巻回、保持されると共に、使用後は同様に容器本体に内装される巻回リールに巻回、収納される転写テープを被転写面等に対して押圧し、転写させる塗布具において、容器本体先端側より突出して転動ギアと一体化してなる転写ヘッドを不使用時に容器本体内に収納するためのスライドボタンを本体容器外に摺動自在に設けて、容器本体に該スライドボタンと一体的に取り付けられたラックと、該ラックと連動するギアを容器本体内に特設し、転写ヘッド側のギアを前記転動ギアと連動し、同時に外側のギアを容器本体内に摺動自在に取り付けられた保護カバー内面の歯に連動させてなる転写テープ塗布具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、容器本体内に内装する転写テープを被転写面等に転写してなる転写テープ塗布具の、特に転写テープを被転写面等に押圧し、転写してなる転写ヘッドならびに転写ヘッド保護装置の構造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の転写テープ塗布具は、転写ヘッドが剥き出しのものが一般的であり、不使用時に塗膜が剥離したり、机上から落下して転写ヘッドを破損して使用不能になったり、更にまた転写ヘッドに保持される転写テープの塗膜に塵埃が付着して塗膜の転写作業に支障をきたしたり、剥離した塗膜で他の物品を汚損する虞があった。そこで近年になり、不使用時に意図しない部分に接して転写塗膜が剥離されることの無いように、キャップ等からなる嵌め込み式の保護カバーやスライド式の保護カバーが装着されているものが市販されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来のものには、次のような問題点がある。キャップ等からなる嵌め込み式の保護カバーでは、転写テープ塗布具を使用する度に保護カバーの着脱作業を行わなければならない、作業が面倒であるばかりでなく、保護カバーを紛失する虞がある。

【0004】また、スライド式の保護カバーでは、不使用時に保護カバーが容器本体内に収納され易く、転写ヘッドの保護の役をなさず、転写テープが意図しない部分に接して塗膜が剥離し、次に使用するときには転写作業に支障をきたす虞がある。

【0005】そこでこの考案は上記従来のものの有する欠点を改良するものであり、簡単な構成により、転写ヘッドの保護及び不使用時に意図しない部分に接して塗膜が剥離しないようにした転写テープ塗布具である。

【0006】

【課題を解決するための手段】そのために、容器本体に

に内装される送出リールに巻回、保持されると共に、使用後は同様に容器本体内に内装される巻回リールに巻回、収納される転写テープを被転写面等に押圧し、転写させる塗布具において、容器本体先端側より突出して転動ギアと一体化してなる転写ヘッドを不使用時に容器本体内に収納するためのスライドボタンを本体容器外に摺動自在に設けて、容器本体内に該スライドボタンと一体的に取り付けられたラックと、該ラックと連動するギアを容器本体内に特設し、転写ヘッド側のギアを前記転動ギアと連動し、同時に外側のギアを容器本体内に摺動自在に取り付けられた保護カバー内面の歯に連動させてなるものである。

【0007】

【発明の実施の形態】上記構成を具えるので、実施にあたり、スライドボタンを前方に摺動させることにより、スライドボタンと一体的なラックも前方へ移動し、それに連動して転写ヘッド側のギアが回転し、該ギアと転動ギアが連動して転動ギアが回転し、転写ヘッドが回転して容器本体内に収納され、同時に外側のギアもラックと連動して回転し、それと連動して保護カバーが前方にスライドして転写ヘッドをさらに保護する。

【0008】

【実施例】この発明を図に示す実施例によりさらに説明する。(1)は、この発明の実施例である転写テープ塗布具であり、この転写テープ塗布具(1)は転写テープ(4)を巻回、保持する送出リール(7)と共に、使用後は同様に転写テープ(4)を巻回、収納する巻回リール(8)を内装してなる容器本体(2)と、容器本体(2)先端側より突出して転動ギア(11)と一体化してなる転写ヘッド(3)を不使用時に容器本体内に収納するためのスライドボタン(9)を容器本体外に摺動自在に設けて、容器本体内に該スライドボタン(9)と一体的に取り付けられたラック(10)と、該ラック(10)と連動するギアを容器本体(2)内に特設し、転写ヘッド側のギア(6')を前記転動ギア(11)と連動し、同時に外側のギア(6)を容器本体内に摺動自在に取り付けられ上下に分割された保護カバー(5)内面の歯に連動させてなるものである。

【0009】そして、この転写ヘッド(3)は、スライドボタン(9)を前方へ移動させることによって、ラック(10)も前方へ移動し、ラック(10)と連動する容器本体(3)内の転写ヘッド側のギア(6')が回転して、同時に転動ギア(11)が回転して転写ヘッド(3)が容器本体内に収納され、同時にラック(10)と連動する外側のギア(6)が回転して上方の保護カバー(5)が前方に摺動し、更に同時に転動ギアと連動する下方のギア(6")が回転して下方の保護カバー(5)も前方に摺動して転写ヘッドを保護する。

【0010】次に、使用する際は、スライドボタン(9)を後方へ移動させることにより、ラック(10)

10

20

30

40

50

4

【図5】同じく転動ギアと一体化した転写ヘッドの斜視図である。

【符号の説明】

- 1 転写テープ塗布具
- 2 容器本体
- 3 転写ヘッド
- 4 転写テープ
- 5 保護カバー
- 6 外側のギア
- 6' 転写ヘッド側のギア
- 6'' 下方のギア
- 7 送出リール
- 8 巻回リール
- 9 スライドボタン
- 10 ラック
- 11 転動ギア

【図１】この発明の実施例である転写テープ塗布具の正面図である。

【图2】

